

## 制度全般にわたる主な課題や論点とそれに対する県の考え方

区分	課題と論点	県の考え方
達成目標から見た 施策進捗度	<p>施策進捗度が全面に出ているため、「取組の主な成果の状況」に記載された内容に施策進捗度との乖離が見られても、それが分かりにくくなっている。</p> <p>施策進捗度が「取組の主な成果の状況」も含めた施策全体の状況と混同されるおそれがあるのではないか。</p>	<p>主要施策評価調書の「施策進捗度」の表記を「達成目標から見た施策進捗度」に修正し、達成目標の評価を総合化したものである趣旨を明示したい。</p> <p>なお、より分かりやすい表記の方法については、次年度の評価に向けて検討したい。</p>
	<p>評価対象年度よりも前の年度の実績値を用いる場合の取り扱いが統一されていないのではないか。</p>	<p>各主要施策の状況を精査し、次年度の評価で整理したい。</p>
	<p>判断ができないものについての「どちらとも言えない」との表示は、読む人により異なった解釈をされるおそれがあるのではないか。</p>	<p>評価書において、解説を更に加えたい。</p> <p>なお、これに替わる、より分かりやすい表現については、次年度の評価に向けて検討したい。</p>
達成目標	<p>目標値に到達した達成目標は、目標値に到達した状況にも留意しながら今後の方針を検討し、次年度の評価へとつなげていく必要がある。</p>	<p>目標値に到達した達成目標の状況を分析し、今後の対応を検討したい。</p>
	<p>達成目標の実績値がない場合は、取組の過程で把握できるその他の数値や成果等を記載し、評価が可能な内容にしておくことが望ましい。</p>	<p>次年度の評価において対応していきたい。</p>
挑戦プロジェクト	<p>挑戦プロジェクトの進捗状況については、主要施策との位置づけの違い等を踏まえて評価のあり方について検討が必要である。</p>	<p>次年度の評価において検討していきたい。</p>